

予 算 要 求 資 料

令和 7 年度 3 月補正予算 支出科目 款：労働費 項：労政費 目：雇用促進費

事業名 外国人インターンシップ事業費（R8分）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

商工労働部 産業人材課 人材企画係 電話番号：058-272-1111(内3682)

E-mail：c11369@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 6,030 千円 （現計予算額： 0 千円）

＜財源内訳＞

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	6,030	2,650	0	0	0	0	0	0	3,380
決定額	6,030	2,650	0	0	0	0	0	0	3,380

2 要 求 内 容

（１）要求の趣旨（現状と課題）

本県における有効求人倍率が1.46と全国と比較しても高い状況が続いている。若年層の都市部流出が続き、日本人学生の採用が困難な状況が継続している。

外国人数は年々増加傾向にあり、県内企業の人手不足も背景に外国人材の活躍が今後一層期待される一方で、労働力不足を補うことが期待されている外国人についても、育成就労制度（R9施行）による転籍自由化の影響により、若年層と同じく都市部への流出が懸念される。

（２）事業内容

インターンシップ受入企業を県内から募集し、インターンシップ連携を希望する外国大学・専門学校等に対して受入企業の情報を提供する。受入企業に対して、受入準備のための企業向けインターンシップ研修セミナーを実施。外国人材活用・定着に関する勉強会を活用し、インターンシップ学生に対する生活面のサポート等を地元市町村等と協力して実施する。

○外国人インターンシップ学生による地域の魅力情報発信

上記の外国人学生のインターンシップ中に受入企業・地域の魅力についてSNS等で発信

○日本国内外国人留学生オープンカンパニー

外国からインターンシップ生を受け入れる企業の不安を解消するため、日本国内で学ぶ外国人留学生を対象としたオープンカンパニーの実施

○外国人インターンシップ生向けの県内就職促進イベント

参加学生に対して、県内企業への就職促進を目的とした合同企業展の実施

（３）県負担・補助率の考え方

県内の外国人雇用実績がない中小規模事業所は、高度人材として外国人材の受入に対して心理的障害を高く感じている。また送り出し側の学校も海外企業の情報に乏しいため県の関与を歓迎している。

直接雇用ではない長期インターンシップで高度人材としての外国人材を試用する本事業は受入・送り出し双方の参加を促進するため県負担による実施は妥当。

国庫負担 1 / 2 [地域未来交付金]

（４）類似事業の有無

無

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	32	選考委員報償費
旅費	340	業務旅費
需用費	231	事務用品、コピー用紙代等
役務費	120	電話、郵便代等
使用料及び賃借料	6	会場使用料等
委託料	5,301	インターンシップ事業
合計	6,030	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

○岐阜県外国人活躍・多文化共生推進基本方針

２ 外国人材が活躍できる環境づくり

（１）外国人材受入企業に対する支援の充実

（２）外国人材に対する県内企業への就労促進

（２）国・他県の状況

経済産業省にて海外展開等を要件とした最大60社を対象の外国人材インターン受入事業を実施している。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

外国人インターンシップ事業により外国人雇用経験を積ませることで、県内企業への外国人学生の正規雇用や特定技能制度等の制度活用を促進し、人材確保を支援していく。

外国人雇用を開始した企業が継続的に外国人雇用を続け、外国人雇用の有用性を県内企業に伝播していくことを目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①外国人学生就業数	0	0	4人	8人	8人	
②外国人雇用開始企業	0	0	2	4	6	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	
令和5年度	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	令和7年度当初予算にて追加 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	少子化による県内事業者の人手不足はより進んでいるため、海外高度人材の活用を促進する本事業の必要性は増加している
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	本事業により、海外学生の直接インターンシップに興味を持つインターンシップ未経験の中小事業者が複数参加している。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	本事業に興味を持つ海外大学との関係構築ができたため、より事業者に合わせた学生マッチングが効果的に実施可能。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 労働力不足は全産業に渡るため、参加企業の事業分野、規模等、幅広く参加を募る必要がある。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和8年度からインターンシップが受入企業にて実施されるため、企業と学生のケアをしながら事業を実施する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 0; right: 0; padding: 5px;">【〇〇課】</div> </div>
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	